

## 第11回 宇宙開発戦略本部 議事概要

日時：平成27年12月8日（火）10：25～10：35

場所：官邸2階 小ホール

出席者：別紙のとおり

### 議事

- (1) 宇宙基本計画工程表（平成27年度改訂）について
- (2) その他

### 議事概要

- 島尻宇宙開発担当大臣から冒頭、1月に決定した「宇宙基本計画」は、毎年その工程表を改訂することとしており、今回が初めての改訂の機会となる。工程表の改訂にあたっては、宇宙基本計画に基づき、①宇宙安全保障の確保、②民生分野における宇宙利用推進、③産業・科学技術基盤の維持・強化の各々の観点から着実に個別の取組を実施するとともに、平成28年度以降の取組について、一步踏み込んだ形で施策内容の充実・具体化等を図っている、との発言があった後、資料1「宇宙基本計画工程表（平成27年度改訂）（概要）（案）」及び資料2「宇宙基本計画工程表（平成27年度改訂）（案）」について説明が行われた。
- 審議の結果、「宇宙基本計画工程表（平成27年度改訂）」を宇宙開発戦略本部として決定した。
- 出席者からの発言は以下のとおり。
  - ・ 中谷防衛大臣より、防衛省としては、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、今後とも多様な任務を効果的かつ効率的に推進していくためには、宇宙空間の利用は極めて重要であると考えている。改訂工程表に関して防衛省の取組について三点申し上げる。第一に、来年度から宇宙状況把握のための宇宙監視システムの設計に着手し、米国等との連携を強化し、宇宙空間の安定的利用を確保するための取組を進めてまいる。第二に、来年度は、自衛隊の指揮統制・情報通信能力を強化するため、Xバンド防衛通信衛星1号機及び2号機の打上げも予定しており、3号機についても引き続き準備を進めてまいる。第三に、北朝鮮の弾道ミサイルの脅威が高まる中、発射を早期に探知しうる早期警戒機能に係る取組として、防衛省が開発した二波長赤外線センサを平成31年度打ち上げ予定の先進光学衛星に搭載させ、宇宙空間での実証研究を行

う予定となっている。これらの着実な取組に加え、引き続き関係府省と緊密に連携し、宇宙基本計画に基づく政府全体の取組に参画してまいり、との発言があった。

- ・ 岸田外務大臣より、近年、民生及び安全保障の両面で、宇宙利用の重要性はますます増大している。外務省としても、本年9月に宇宙に関する包括的日米対話第3回会合及び安全保障分野における日米豪宇宙協議を実施した。今般改訂される宇宙基本計画工程表を踏まえ、宇宙空間の安定的利用確保の国際的ルール作りの推進、諸外国との対話及び協力の強化に引き続き取り組んでまいり、との発言があった。
- ・ 林経済産業大臣より、経済産業省としては、宇宙産業基盤の強化に向けて、国際競争力のある小型衛星の開発を進めるとともに、部品に関する技術戦略を本年度中に策定し、関係府省とともに、競争力のある宇宙用部品の開発・事業化を進めてまいり。また、海外からの受注を拡大するためには、外交レベルでの先方要人への働きかけや、JAXAによる人材育成協力等、関係府省が連携して取り組みを進めることが重要である。経済産業省としても、海外展開タスクフォースの場を通じて良く連携を図り、受注拡大に向けた取組を積極的に推進してまいり、との発言があった。
- ・ 松下総務副大臣より、1月の宇宙基本計画決定後、この一年間、宇宙分野を取り巻く環境にも様々な変化があり、今後の宇宙戦略の方向性を新たな工程表という形で取りまとめたことに敬意を表す。工程表には、総務省が関係する通信・放送分野の技術試験衛星をはじめ、リモートセンシング開発、通信放送衛星の海外展開等が記載されており、関係省庁とも連携しつつ具体化に向けた取組を進めてまいりたい。特に先月、新たに発足した株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構が、衛星を含むICTサービスやインフラの海外展開を支援する予定である。当該機構等も活用しつつ、宇宙システムの海外展開に積極的に取り組んでまいりたい、との発言があった。
- ・ 富岡文部科学副大臣より、宇宙開発利用は、我が国の安全保障や経済社会の発展に貢献するとともに、若者たちに夢と活力を与え、我が国の今後の一層の発展を支える分野であり、文部科学省としても今回改訂された工程表に掲げられた施策について、着実に取り組んでまいりたい。具体的には、平成32年度の初号機打ち上げを目指したH3ロケットの開発や将来の通信衛星の技術基盤となる「技術試験衛星」等の人工衛星の開発利用を推進するとともに、宇宙科学・探査において、平成31年度の打ち上げを目指し、小型月着陸実証機の開発に着手することとしている。国際宇宙ステーション（ISS）については、平成36年までの運用延長への参加の決定に向けて、米国政府との合意を得るとともに、

平成 28 年度以降、無人補給機「こうのとりのこ」を改良した「HTV-X」の開発に着手したい。また、私自身も構成員となっている「宇宙システム海外展開タスクフォース」の活動の一環として、日本企業の衛星受注の後押しをすべく、本日もトルコに出張し、政府高官に要請してまいりたい、との発言があった。

- 最後に、安倍内閣総理大臣より、本日、「宇宙基本計画」の「工程表」を改訂した。GDP600 兆円に向けた生産性革命において、宇宙分野を柱の一つとして推進していく。特に、技術進歩により急速に広がりつつある、民間による宇宙開発利用を支援していく。
  - ・ 衛星を利用した自動車の自動走行、農業機械や建設機械の自動運転等の新事業・新サービスの創出を促す仕組みを整備する。
  - ・ 「宇宙活動法」や「衛星リモートセンシング法」を次期通常国会に提出する。
  - ・ 日本の優れた宇宙システムの海外市場を開拓する。

島尻大臣には、関係閣僚と連携し、今回改訂した「工程表」を着実に実行し、こうした「攻めの宇宙戦略」に取り組んで頂きたいとの発言があった。

(議了)

(別 紙)

出席者一覧

安倍 晋三	内閣総理大臣
麻生 太郎	財務大臣
	内閣府特命担当大臣（金融）
	デフレ脱却担当
岩城 光英	法務大臣
岸田 文雄	外務大臣
森山 裕	農林水産大臣
林 幹雄	経済産業大臣
	産業競争力担当
	原子力経済被害担当
	内閣府特命担当大臣（原子力損害賠償・廃炉等 支援機構）
石井 啓一	国土交通大臣
	水循環政策担当
中谷 元	防衛大臣
菅 義偉	内閣官房長官
	沖縄基地負担軽減担当
河野 太郎	国家公安委員会委員長
	行政改革担当
	国家公務員制度担当
	内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全 規制改革、防災）
島尻 安伊子	内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策 科学技術政策 宇宙政策）
	海洋政策・領土問題担当
	情報通信技術(IT)政策担当
	クールジャパン戦略担当
甘利 明	経済再生担当
	社会保障・税一体改革担当
	内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

加藤 勝信	一億総活躍担当 女性活躍担当 再チャレンジ担当 拉致問題担当 国土強靱化担当 内閣府特命担当大臣（少子化対策 男女共同参画）
遠藤 利明	東京オリンピック競技大会・東京パラリンピッ ク競技大会担当
萩生田 光一	内閣官房副長官
世耕 弘成	内閣官房副長官
松下 新平	総務副大臣 兼内閣府副大臣
富岡 勉	文部科学副大臣 兼内閣府副大臣
竹内 譲	厚生労働副大臣
平口 洋	環境副大臣
牧島 かれん	内閣府大臣政務官
高木 宏壽	内閣府大臣政務官 兼復興大臣政務官
杉田 和博	内閣官房副長官
古谷 一之	内閣官房副長官補（内政）
兼原 信克	内閣官房副長官補（外政）
高見澤 將林	内閣官房副長官補（事態）
小宮 義則	宇宙開発戦略本部事務局長